

豆腐容器活用の定規寄贈

小学校の出前授業で使用

おとうふ工房いしかわ

【刈谷】大豆加工品の製造販売を手掛ける、おとうふ工房いしかわ（本社高浜市、石川伸社長）は、高浜市に豆腐容器を活用した定規を寄贈した。同社が小学校で行う環境教育の出前授業で使用する。

寄贈したのは、減プラスチック製豆腐容器を「アップサイクル」した定規。アップサイクルは、廃棄されてしまう物を価値ある物に変える試みを指す。この定規は丸形で名称は「まあるい定規」。

高浜市役所で開催した寄贈式には、同社の石川社長と高浜市の吉岡初浩市長が出席。石川社長は、環境教

育の出前授業と回収実験について報告。本年度も高浜市内の全小学校4年生に環境教育授業を予定していることを伝えた。容器回収では「学校給食が最も再資源化率が高かった」と説明し、



吉岡市長に目録を手渡す
石川社長（右）

事業化を予定している容器回収と再資源化に向けて、学校給食からの回収協力を求めた。

吉岡市長は「まあるい定規を使った環境教育は、子どもたちが理解しやすい。今後も市内小学校での環境教育に協力をお願いしたい」と述べた。